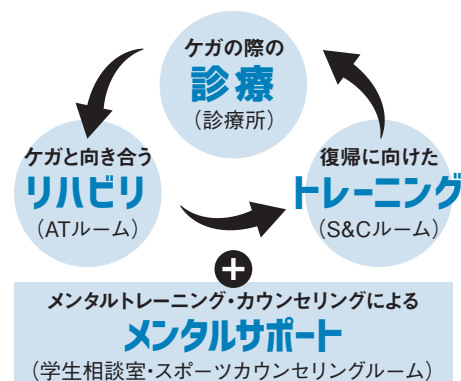


スポーツ活動のサポート体制

学生のカラダと心の支援体制は全国トップ級

学生アスリートの身心を、全国でもトップクラスと言える充実の環境でサポート。フィジカルは診療ーリハビリートレーニングのサイクルを3施設で確立。メンタルは日本を代表する専門家がケアします。スポーツ科学、学修支援面の支援も万全です。



診療所 全国でも極めてまれ! 医師が在勤



整形外科と内科のスポーツドクター(教授)が診察、診断、投薬を行います。

スポーツに打ち込む学生へのサポート体制の充実を図るため、2007年に保険診療を開始し、現在の運営になりました。併設のリハビリテーション室にはアスレティックトレーナーの資格を持つ理学療法士がおり、整形外科医の診断に基づいたリハビリを受けることもできます。ケガの最初の段階から関わり、学内のみで競技復帰を一貫してサポートする体制が整っています。

学生相談室・スポーツカウンセリングルーム



日本を代表する スポーツ心理専門家がケア

日本スポーツ心理学会理事長や日本スポーツ協会等の委員を務め、日本代表やプロチームのメンタルサポートにあたっている日本トップクラスのスポーツ心理専門家が、学生アスリートのメンタル面をサポート。メンタルトレーニング指導やカウンセリングを通して世界大会での好成績につなげた選手もいます。カウンセラーは、スポーツメンタルトレーニング指導士などの専門資格の他、カウンセリングの国家資格である公認心理師資格も持っているため、スポーツに限らず学業・対人関係等の相談にも応じ、年間500件前後の面談を実施しています。

担当医師からのメッセージ

学生がスポーツに専念できるよう様々なサポートを。

大阪体育大学診療所では、スポーツに打ち込む学生の整形外科的、内科的サポートを行なっています。ケガをした時の競技復帰までのサポートはもちろんのこと、公式戦出場前のメディカルチェック、貧血の治療、健康診断後の二次検診などの他に、不整脈や月経異常についての相談も受け付けています。また、麻疹などの抗体検査、インフルエンザワクチンの接種など、全ての学生が健康的な生活を送り、スポーツに専念できるよう、さまざまなサポートを行なっています。「自分の健康は自分で守る」という意識を持って、診療所を大いに活用してください。

内科部長 前島 悦子 教授



スポーツ局

スポーツ局
サイト



全国に先駆けたクラブ統括部局

スポーツ局はクラブの統括組織として2018年に全国に先駆けて設置された部局で、学生アスリートや指導者に対し科学的知見を活用した競技向上支援や学生アスリートとして身につけるべき学修支援、ケガや事故を防ぐための環境整備など、総合的なサポートを担っています。また、教職員や学生アスリート、施設など大学のスポーツ資源の効果的な運用や機能統合を図り、体育・スポーツの総合大学としてのブランドの構築を推進します。

ホームゲームを学内で実施する「フレンドリーマッチ」

大学での様々なパフォーマンスを学生・教職員・地域の方々が観戦できるイベント「フレンドリーマッチ」。企画や運営はスポーツマネジメントコースの学生が中心となり、スポーツ局が運営全体を取りまとめています。2024年度は、バスケットボール部女子の武庫川女子大学とのBチーム交流戦をプロデュース。多数の有料入場者が来場し、試合の様様は高い注目を集めました。



ATルーム 専門スタッフとともにケガと向き合う



アスレティックトレーナーの専門資格を持つスタッフのもと、アスリートがケガからの競技復帰をめざしてトレーニングに取り組む施設。テーピングテーブルやトリートメントベッドのほか、ワールプール(渦流浴装置)で血流を増進させるホットバス、エクササイズ後の炎症を抑えるアイスバスなども利用できます。平日は毎日開室しています。学生ATチームも活動し、トレーナーをめざす学生の学びの場でもあります。

S&Cルーム ナショナルトレセンで指導経験があるスタッフが常駐



約1200㎡のエリアにベンチプレスラック、スクワットラック、プラットフォームが13セットずつ設置されており、多くの利用者が効果的にトレーニングを行うことができる施設となっています。ナショナルトレーニングセンターなどで日本代表選手へのサポート実績のあるスタッフを含むストレンクス&コンディショニングの有資格者が複数名常駐しており、多くの学生アスリートをサポートしています。また、本施設はクラブに所属していない学生も利用可能な施設でもあります。

スポーツ科学センター

スポーツ科学センター
サイト



Opto Jump Next

最先端の科学で学生アスリートをサポート

スポーツ科学センターは学生アスリートを最先端のスポーツ科学でサポートするために設置されているセンターです。アスレティックトレーニング(AT)、ストレンクス&コンディショニング(S&C)、心理、栄養、測定評価の5部門に分かれ、分野を超えて連携しながら、学生に助言や指導を行っています。測定評価部門では専門的機器を用いた、体力や運動能力の測定を行い、指導者を交えてフィードバックをします。そうした科学データに基づき選手の課題を明確化して、S&C部門のスタッフがトレーニング指導を行います。また、個々の選手やチームの課題に応じて心理や栄養の、専門資格を持ったスタッフが講習会や個人面談などを行っています。受傷選手に対するリハビリの支援はAT部門の専門スタッフが担っています。多数のクラブが5分野もの幅広いスポーツ科学サポートを、専門的な有資格者のスタッフから受けることができる本学の支援体制の充実度は全国でもトップクラスといえます。

**パフォーマンスの最適化をめざし、各分野が連携。
的確なアドバイスや指導を実践しています。**

1 AT部門



2 S&C部門



3 心理部門



4 栄養部門



5 測定評価部門

